

未来に輝くために

城西小学校生徒指導部 平成23年12月14日発行

☆☆ごあいさつ☆☆

第3号の発行です。2011年最後の発行となります。先日の授業参観・学級懇談会では寒期中多数ご参加いただきありがとうございました。その際に、各学級でもお話があったと思いますが、今回は、主に冬休みの過ごし方について、毎年子どもたちに指導していること、例年課題となっていることなどを改めてお知らせし、地域・家庭の協力をお願いしたいと思います。

次号は1月発行の予定です。今年度は残り少なくなりましたが、2012年もできるだけこの通信を利用して、子どもたちの成長を学校・地域が共に考え、少しずつでも前へ進んでいければと願っております。年末の押し迫った時期ですが、忙しい合間のちょっとした気分転換に、本紙に目を通していただければ幸いです。それではどうぞ良い年をお迎えください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

＝ 冬休みを迎えるにあたって

例年、終業式の折に、全校児童に冬休みの心得を生徒指導部より話しています。夏休みと共通するところも多いのですが、いつも子どもたちに伝えているのが、「3つの車のお世話にならない」ということです。それは、救急車・消防車・パトカーのお世話になるようなルール違反をしない、ということのを低学年の子どもにも分かるように簡潔に示しています。家庭でも冬休み中の合言葉にしていいただければと思います。

さらに、特に夏休みや冬休みに気をつけてほしいこととして、不規則な生活時間によって起こる様々な課題も子どもたちに伝えています。子どもたちの自由な時間が増えるために、平日は起こりえないことが起きて、学校でも後々対応に苦慮することがしばしばです。前回の夏休みの場合は、「子どもだけで川において遊びません」「子どもだけで友だちの家にとまりません」「4年生以上はヘルメットをかぶり、自転車のきまりを守って乗りましょう」「そうごうゆうぎしせつ（カラオケやボーリング場やゲームセンターがいっしょになっているところ）には大人といっしょでも行きません」の4つを話しました。今の子どもたちの実態を考慮した上で、特に取り上げて伝えました。今度の冬休み前もほぼこれらと同じ内容を伝えるつもりですが、冬季ということを考えて、今回は「火遊びをしない」ということも加えたいと思います。マッチやライターなど、火の元になるものを安易に子どもたちの見えるところに置かずに、使わせる場合は、十分な指導の下で使わせられるようお願いしたいと思います。総合遊戯施設については、5年ほど前に、西山中校区3校の生徒指導部で協議し、非行防止のために利用しない、という3校合同の取り決めをしております。以後毎年、パチンコ店やゲームセンターと同様の扱いにしておりますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

休み中は、子どもたちにとっては無限に近い時間があり、つい気持ちが大きくなってしまいがちですが、自分だけでなく周りの人たちも安全であることが大前提です。楽しく、思い出に残る冬休みにするために、ルールを守った生活が送れるように家庭でも見守ってあげてください。

＝ それぞれの学年では

今号より、数回に分けて、1年生から6年生まで日々の生活指導で先生方が考えておられること、実践されていることをほんの一部ですが、ご紹介していきたいと思ひます。それぞれの学年

の保護者の皆様には、既にご存知のこともあるかと思いますが、兄弟関係などがなく直接関わりのない学年の様子について知る機会はほとんどなかったと思ひます。また、ここでご紹介した学年の課題・取組が全校で考えねばならないことに繋がることも大いにあると考えられます。

今回は、今年入学して学校生活にもずいぶん慣れてきた1年生と、もうすぐ中学校進学を控える6年生にお願いしました。我が国の教育システムの中でも小学校は6学年にわたり、最も幅広い年代の子どもが集まる場所です。6年間の間に子どもたちがどのように成長していくか、特に低学年の子どもをお持ちのご家庭に何か子育てのヒントになれば幸いです。

1年生は、二学期から下校時に名札をはずすようにしました。はじめのうちは、朝からつけ忘れたり、家に忘れたりすることがありましたが、それもだんだんなくなってきました。トイレのスリッパがならんでいないことが多かったのが、係の子が点検するようになり、他の子の意識も少し高まったような気がします。廊下走りがなかなか減りませんので、「ストップもう一度」と、お互いに声をかけ合っています。できるところから一つ一つ取り組んでいるところです。
(1年生徒指導部)

6年部では、「してはいけないことはしてはいけない」を合言葉に生徒指導を行っています。6年生はもうすぐ中学生になります。中学生になると、学校の規則も厳しくなります。決まりを守ることができないと、いちいちそれを注意されて学校生活が楽しくなくなります。決まりを守る態度を今の時期にしっかり身に付けさせることが、中学校を楽しく過ごすための第一歩だと思うからです。
(6年生徒指導部)

＝ 読者の声

第2号の分についてお寄せいただいた感想・ご意見を紹介します。今回は、電子メールでのご利用があり、嬉しく思ひます。第3号の発行まで来ましたが、第1号・第2号についてのご感想・ご意見も引き続き歓迎しますので、どしどしお寄せください。バックナンバーは、学校ホームページ上でも閲覧できます（PDFビューワーが必要です）。

◎我が子のスカート丈も具体的な写真で目安より短いと確認できました。スカート自体腰回りや調整ひもで長さを調整してみますが、丈を長くすることができず、逆に肩ひもが垂れたり見苦しくなるのです。まだ着られるから…と思うのですが、替え時なのですね。

◎お金の件、我が家でも親子で考えているところです。祖父母からお小遣いをもらうと、自分で管理したいようです。今はまだ、子どもと話し合い、親の手元に預けていますが…。家庭の中で、お金や持ち物について、常に話題に出して理解を深めていけたらと思っています。

◎両親ともに他県で自由な服装だったので、入学する前は子どもらしく私服が良いと思っていました。ただ、時代が違ひ今はファッション性が高いため標準服でよいかと思っています。ベルトに関して、まだ1年生で自分で着脱できトイレなど行きやすい物と思うと探すのが大変でした。そう考えると、ベルトをしていない子がいてもおかしくないことだと思っています。その都度、シャツをズボンの中に入れておけばよいと思っています。

※掲載分については、修正・編集させていただいております。※

(文責：生徒指導部 土谷竜一)

ご意見・ご感想をお寄せください 年 お名前 ()